

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスひまわりのたね			
○保護者評価実施期間	R6年 12月 4日	～	R7年 1月 20日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	R6年 12月 4日	～	R7年 1月 20日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 12月 4日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定期的スタッフ間でご利用者様の支援内容について話し合い、ご利用者様にあった活動、イベントを実施している	毎日の活動の他、お花見、BBQ、プール、ミニ運動会、文化鑑賞会などを企画、開催したり、ご利用者様のご家族様同士が交流できるよう、秋祭りや参観日、発表会を毎年開催している	今後、別の新しいイベントも開催できないか検討していく。活動プログラムが固定化されないよう意識して話し合い、作成する
2	活動スペースが広く、施設内の設備がバリアフリー化されているので(段差がない、手すりが設置されている、車いすで入れるトイレがある、車いす仕様の手洗い場がある等)、ご利用者様が安全にのびのびと過ごすことが出来る	身体障害のあるご利用者様がいらっしゃるため、活動スペースや移動スペースにフロアマットを敷いたり物の置き場所を工夫する等して、ご自身で移動する場合や歩行介助で移動する場合に安全に移動できるよう施設内を整備している	これからも定期的にメンテナンスを実施し、ご利用者様がより安全に快適な空間で過ごせるように日々改善していく
3	施設内に畑や実のなる木があり、手入れ、水やり、収穫、収穫物を使ったクッキング活動を通して、食育に力を入れている	食育以外にも、季節の花を植えたり緑のカーテンを設置したり、花を利用した創作活動をしたり、自然と触れ合う機会を意識的に行っている	ご利用者様に畑に植えたいもの、クッキングで作りたいものや食べたいもの等の意見を聞いたうえで、植え替え計画、収穫計画をたて実施していくなど、計画の段階からご利用者様の意見を反映していきたい

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他の子どもと活動する機会があまりない	ご利用者様の学校で定期的に他の学校との交流授業などが行われているため、当施設においては放課後児童クラブや児童館との交流は行っていない	当施設開催のイベントを実施して地域の方々を招待したり、地域開催のイベント等に積極的に参加していく
2	女性スタッフの人数に比べて、男性スタッフの人数が少ないので、同性介助が難しいケースがある	男性スタッフの不足	男性スタッフの補充
3			